

スズヤス 2年連続で健康経営優良法人認定 働きやすい環境づくり積極推進

メタルワングループのコイルセンター、スズヤス（本社・東京都中央区、社長・谷宏樹氏）は、社員の健康管理や働きやすい職場環境づくりを積極的に進めている。経済産業省が主体で推進する「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に2023年、24年と2年連続で認定されたほか、今年度は埼玉支店（埼玉県東松山市）が埼玉県の「多様な働き方実践企業」の最高位となるプラチナ認定を取得。さまざまな職種や職場環境にあわせ、社員に寄り添った施策や制度整備・改善に取り組んでいる。

同社では21年に東京健康管理や拠点ごとの働き方実践企業健康保険組合が行やすい職場づくりの整う「健康企業宣言」に参画、制度改善など、さまざまな施策に取り組んで「銀の認定」を取得している。後、23年度には社内に健康管理については、「働き方改革委員会」を定期健康診断100%受診させた。各拠点から診、再検査・特定保健指委員を選出し、社員の健康の受診勧奨のほか、メ

埼玉支店、「多様な働き方実践企業」でプラチナ認定

ンタルヘルス対策、さらに35歳以上の社員が本人負担なしで人間ドックを受診できる独自制度を新設。社員の健康意識を促進させて企業イメージの向上につなげている。

また働きやすい職場環境づくりにおいても、前年度に取得した年次有給休暇日数を次年度は1日多く取得する取り組みのほか、時間外労働の導入、事務職はフレックス

タイム制勤務（コアタイムなし）の導入など独自の制度を整備。23年度の有給休暇は全社員平均で前年度比1・7日増の11日で、取得率は69%を達成した。

事務職に比べて在宅ワークやフレックスタイム制度が導入し難い製造現場の職種向けの施策にも手厚い。ユニークな制度としては、23年度から製造現場の社員用の作業着の支給形態を改め、レンタルユニフォーム制度を導入。作業着はクリーニング業者が回収するため、家庭に持ち帰って洗濯する手間や時間の削減につながる。またユニフォームの着替え時間の有給化といった制度導入も合わせて実施している。

谷社長は「『健康経営優良法人認定』の中小規模法人部門において上位500社に入り『プラチナ500認定』の取得を目指したい」と話している。

また「今回埼玉支店で取得した自治体の認定を他拠点にも広げていき、各地域での採用やリクルーティングに役立てていきたい」と話す。

